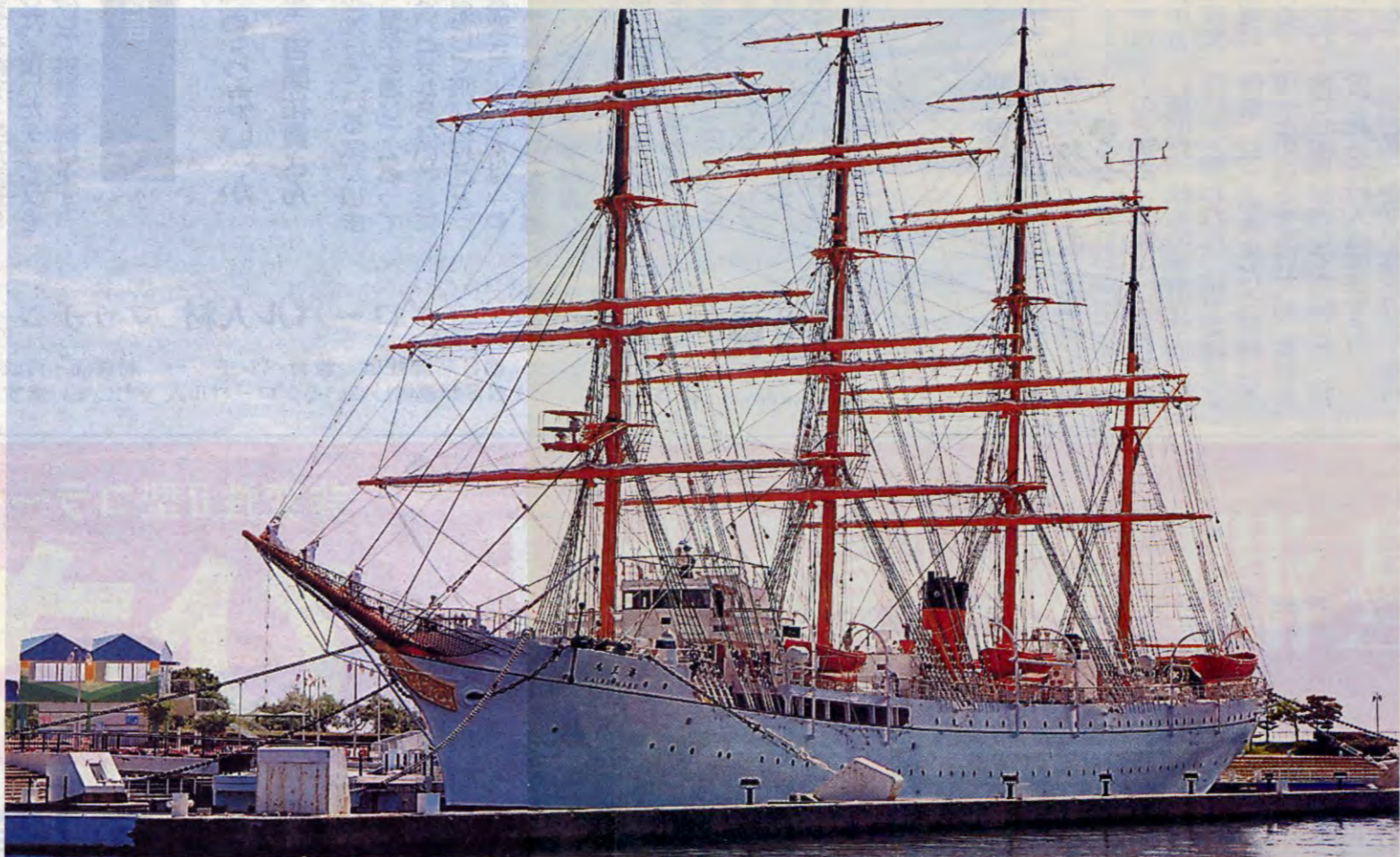
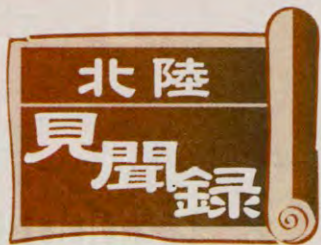


海の貴婦人今も「現役」

白く美しい船体から「海の貴婦人」と呼ばれた帆船「海王丸」が、富山の港にいかりを下ろして27年。全国から集まるボランティアたちが愛情を注ぎ続け、往時と変わらない優美さを保っている。



帆船「海王丸」。マストに張り巡らされたロープは約250本。乗組員たちは全ての名前を覚えているという



メモ 海王丸 全国の商船学校に進水。戦時中は帆を外され、物資を輸送した。戦後は帆船に戻った。59年間で地球約50周分にあたる106万海里を航海。89年に2代目海王丸へ練習船としての役割を譲った。一般公開は午前9時半〜午後5時。水曜定休。乗船料は小中学生200円、高校生以上400円。問い合わせは伏木富山港・海王丸財団(0766・825181)へ。

「セツト・ローワー・トップスル!!」「スタンバイ・シート!!」
10日午後、甲板に阿部大志・2等航海士(30)の号令が響いた。乗組員やボランティアらが復唱し、マストから伸びたロープを握った。かけ声に合わせてロープを引くと、メインマストの一番下の帆がゆっくりと開いていった。

現在は「海王丸パーク」で、帆船のつくりや船での生活などについて知ってもらうために活用されている海王丸。この日は年6回ある、新人ボランティア向けの訓練が行われていた。参加した男女4人は、真っ白な作業服姿で、帆を開閉する手順などを学んだ。

訓練のハイライトは、海面から46メートルの高さのメインマストの頂上まで行く、格子状のロープ登り。「原



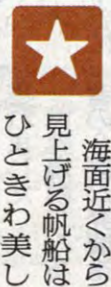
海王丸の「幸せのベル」を鳴らす新郎新婦。いずれも射水市海王町

夏には子供たちの海洋教室があり、ヤシの実を使った甲板掃除やカッター訓練を行う。阿部さんは「協同性やリーダーシップを培うには帆船が一番」と話す。2013年には「恋人の聖地」にも選ばれた。進水した日がバレンタインデーの2月14日だったため、船内にはカップルが愛を誓って鍵をかけるスペースも。今月11日には、船の鐘を打ち鳴らす「幸せのベル結婚式」が開かれ、新婚夫婦の船出を祝った。(山西厚)

次回予告 次回(27日)は、高山右近ゆかりの「隠れキリシタン寺」本行寺(石川県七尾市)を取り上げます。今後、紹介を希望するテーマがありましたら、朝日新聞富山総局へ郵便(〒930・0005 富山市新

桜町6の18)かメール(toyama@asahi.com)でお寄せください。採用時にご連絡します。この企画は、朝日新聞販売所(ASA)と協力してつくっています。

副船長「みーちゃん」人気



海面近くから見上げる帆船はひとときわ美しい。新湊観光船(07666・82・1830)が運航するクルーズ船に乗り、海王丸のそばを通過して富山新港のコンテナ船や、寄港した国内外の練習船も見られる。内川をさかのぼると、両



岸に間口の狭い民家が並んでいた。高倉健さん主演の「あなたへ」など、映画のロケ地として人気の漁師町だ。海に戻ると海岸線の向こうに立山連峰が見えた。クルーズ船のもう一つの名物が副船長の三毛猫「みーちゃん」。声をかけると愛想良く鳴き声をあげる。50分の遊覧コースは中学生以上1500円、小学生800円。水曜定休で、午前9時〜午後4時出港。

エトセトラ



海王丸から車ですぐの「新湊きつときと市場」(0766・84・1233)では、富山湾でとれたての魚介類やすし、地酒などを販売している。

鮮魚コーナーには岩ガキやシロエビ、シマダイなどが並ぶ。刺し身や焼き物、揚げ物に調理してもらえ、場内で地酒と共に味わうことができる。富山名物の昆布締めにする調理代は100円だ。人気の一つがクリームにシロエビを練り込んだ「白えびソフト」(税

白えびソフト香ばしく



込み350円)。りりしくトッピングされた干しシロエビの塩味が、クリームに甘さを引き立てる。冷たさに口が慣れると、シロエビの香ばしさや濃厚な風味が口に広がった。年中無休。営業時間は午前9時〜午後5時。